

第1回 新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会

日 時：平成23年7月27日(水)

14時～16時

場 所：八重山合同庁舎2階大会議室

会 次 第

1. 開 会
2. 委員紹介
3. 座長挨拶
4. 議 事
 - (1)懇話会の目的及び設置要綱
 - (2)新石垣空港駐車場計画の概要
 - (3)現空港駐車場の現状
 - (4)駐車場に関するアンケート調査の結果報告
 - (5)宮古空港の状況
5. 意見交換
6. 閉 会

配布資料

- | | |
|------|---------------|
| 資料-1 | 懇話会の目的及び設置要綱 |
| 資料-2 | 新石垣空港駐車場計画の概要 |
| 資料-3 | 現石垣空港駐車場の現状 |
| 資料-4 | 空港利用者アンケート結果 |
| 資料-5 | 事業者対象アンケート結果 |
| 資料-6 | 宮古空港の状況 |

懇話会の目的及び設置要綱

石垣空港は、八重山圏内の拠点空港として、また圏外とを結ぶ交通結節点として重要な役割を果たしており、平成 21 年には年間約 175 万人が空港を利用している。

しかし、現空港の無料駐車場利用者の中には長期間駐車場を利用する者も多く、時間外利用の割合は駐車場規模の約 20%となっている。

新石垣空港駐車場は平成 25 年 3 月に供用開始を予定しているが、郊外への空港移転に伴い自家用車等の利用が増えることで長時間駐車が増加し、利用したい時に駐車スペースが無いといったことが懸念される。

同様な長時間駐車の問題を抱えていた宮古空港では、駐車場の適正管理を図るため、平成 22 年 8 月に駐車場有料化を実施した。その結果、長時間駐車が大幅に減少することで駐車スペースが確保され、利用者から「利用しやすくなった」との声が多くあり、有料化の効果が発現している。

このような状況に鑑み、県では、駐車スペースの確保、駐車場の美化、利用者ニーズへの対応等といった行政サービスの維持及び向上を図るためには、無料駐車場と有料駐車場のどちらが好ましいか検討しているところである。

以上のことから、新石垣空港駐車場の適正な管理・運営について、3 市町及び関係団体等の意見を伺った上で方針を決定することを目的として、懇話会を設置するものである。

[現石垣空港駐車場状況写真]



(平成 22 年 8 月撮影)

2 懇話会及びその後のスケジュール

開催予定月	審議内容
第1回 懇話会 (平成23年7月27日)	① 懇話会の目的及び設置要綱 ② 新石垣空港駐車場計画の概要 ③ 現空港駐車場の現状 ④ 駐車場に関するアンケート調査結果 ⑤ 宮古空港の状況
第2回 懇話会 (平成23年9月頃)	① 第1回懇話会の審議事項の確認・報告 ② 駐車場管理・運営方針の提案 ③ 駐車場管理・運営方針の検討
第3回 懇話会 (平成23年11月頃)	① 第2回懇話会の審議事項の確認・報告 ② 駐車場管理・運営方針の確認 ③ 今後の取組

平成23年12月

懇話会の結果取りまとめ

平成24年1月～

地元等への説明 石垣市、竹富町、与那国町

一般市民、空港利用者への周知、県・市のホームページ、マスコミなども活用

新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会設置要綱（案）

（設置）

第1条 新石垣空港駐車場の適正な管理・運営について、3市町及び関係団体等の意見を伺った上で方針を決定することを目的として、新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関する懇話会（以下、「懇話会」という。）を設置する。

（協議事項）

第2条 懇話会では、次の事項について協議する。

- (1) 新石垣空港駐車場の管理・運営方針に関すること
- (2) その他

（委員）

第3条 懇話会の委員は、別紙のとおりとする。

（座長）

第4条 懇話会には座長を置き、石垣市副市長がこれにあたる。

（招集）

第5条 懇話会は、座長が招集する。

2 座長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求めることができるものとする。

（会の事務）

第6条 懇話会の事務は、沖縄県土木建築部新石垣空港課、沖縄県土木建築部新石垣空港建設事務所、石垣市企画部企画政策課及び石垣市建設部空港課石垣空港管理事務所で相互に連携して処理にあたる。

（その他）

第7条 その他、懇話会運営に必要な事項は、懇話会が定める。

附 則

この要綱は、平成23年7月27日より施行する。

＜懇話会の委員名簿＞

	所属団体名	役職名	氏名	備考
1	石垣市	副市長	漢那 政弘	座長
2	石垣市商工会	会長	宮城 隆	
3	石垣市観光協会	会長	宮平 康弘	
4	八重山身体障害者福祉協会	会長	比嘉 玉子	
5	石垣空港ターミナル(株)	専務	高良 和夫	
6	八重山地区レンタカー連絡協議会	会長	瀬戸 守	
7	沖縄県ハイヤータクシー協会 八重山支部	支部長	平良 裕助	
8	東運輸(株)	代表取締役	前津 文一	
9	大阪航空局石垣空港出張所	所長	上里 朝昭	
10	沖縄県八重山警察署 交通課	課長	赤嶺 勇	
11	石垣市 建設部	部長	生巢 武	
12	石垣市 企画部	部長	吉村 乗勝	
13	竹富町 企画財政課	課長	勝連 松一	
14	与那国町 総務財政課	課長	譜久嶺 弘幸	
15	沖縄県 総務部 八重山事務所 総務課	課長	松田 碩志	
16	沖縄県 土木建築部 空港課	課長	照屋 朝和	
17	沖縄県 土木建築部 新石垣空港課	課長	喜屋武 忠	
18	沖縄県 土木建築部 八重山土木事務所	所長	嘉手納 良文	
19	沖縄県 土木建築部 新石垣空港建設事務所	所長	久高 将佑	

＜事務局＞

1	沖縄県 土木建築部 新石垣空港課	企画整備班長 主任技師	宮城 統 大城 勇人	
2	沖縄県 土木建築部 新石垣空港建設事務所	建設班長 主任技師	玉城 謙 阿波根 庸夫	
3	石垣市 企画部 企画政策課	主幹	石垣 雅好	
4	石垣市 建設部 空港課 石垣空港管理事務所	課長補佐	兼久 一彦	

新石垣空港駐車場計画の概要

新石垣空港駐車場の計画については、将来予想される空港利用者数の需要予測から駐車場の規模を算定している。

空港利用者数の需要予測は、平成 33 年時点で年間 260 万人（平成 21 年は 175 万人）の需要が予測されている。

駐車規模については、表－１新石垣空港駐車場規模のとおり一般車両用は 400 台そのうち 7 台は身障者用、空港関係従業員用は 99 台、タクシープールは 60 台、バスプールは 27 台、合計 586 台の駐車台数で計画している。

空港へのアクセスは空港の南側の国道 390 号と県道新川白保線の交差点から県道新川白保線を約 500m 経由し、新石垣空港の駐車場へ入ってくる。

駐車場設計（別図－１新石垣空港計画平面図参照）の基本的な考え方として、駐車場を周回する道路は一方通行とするとともに、車線数は基本的に 2 車線とし、一般用駐車場入口の進入路と接車フロント側の車線数については、駐車場へ入る際の停車と接車フロントの駐車スペースを探す車両を考慮し付加車線を確保することにより、交通流が円滑となるよう設計している。また、一般用駐車場、タクシープール、バスプールの出入口は分離し、出入口をそれぞれ 1 箇所とすることにより、交通流を簡素にすることで交通安全に配慮している。

駐車スペースから出た歩行者は、ターミナルビル中央入口側に設置する横断歩道から道路を横断しターミナルビルへ入る動線となる。横断歩道の箇所を 1 箇所に絞ることによって歩行者の道路横断の安全を確保している。

身障者専用の駐車スペースは幅 3.5 m、長さはリフト付き車両を考慮し 6 m を確保している。設置位置は横断歩道に一番近い場所に配置し、移動経路の勾配は 1/20 (5%) 以下で段差をなくし車いす利用者に支障がないよう配慮している。移動経路の道路との段差は 2cm とし、車いす利用者や視覚障害者に支障がないよう設計している。

ターミナルビル前面の接車フロントの配置は、ターミナルビル中央入口に一番近い場所に身体障害者用を 1 台配置し、その両側に一般車両やタクシーなどの降車用をそれぞれ 7 台、ターミナルビルに向かって右側に路線バス用 2 台、ターミナルビルに向かって左側にタクシー乗車用を 6 台設置している。

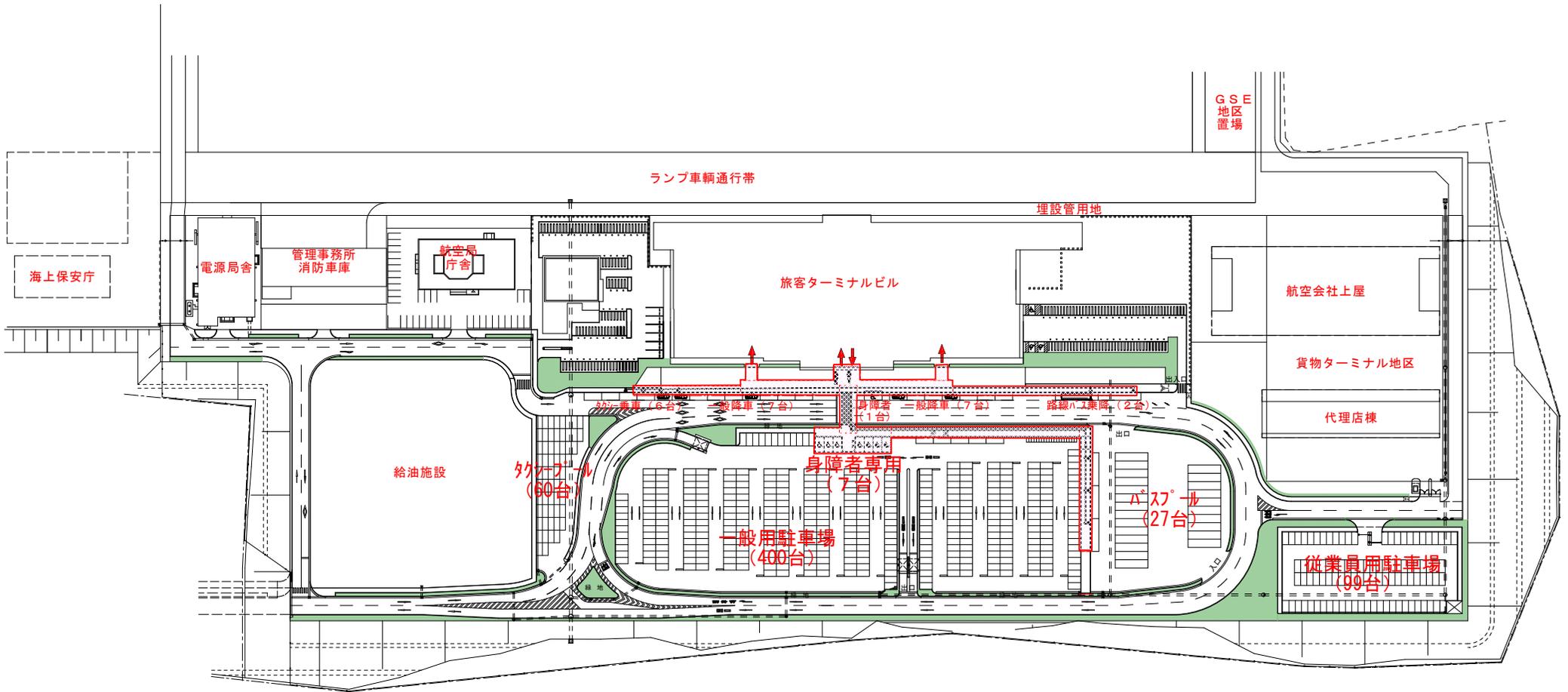
また、接車フロント、横断歩道、身障者専用の駐車スペース、バスプールの乗降箇所から横断歩道へ至る経路上は、歩道や駐車スペースに風雨をしのげるよう上屋（ルーフ）を設置することとしている。

表－１ 新石垣空港駐車場規模

内 訳	新空港駐車台数	現空港	備考
一般車両用	400台(7台)	317台(4台)	現空港では、一般車両用と空港関係従業員用の分けはない
空港関係従業員用	99台	—	
タクシープール	60台	40台	
バスプール	27台	9台	
合 計	586台(7台)	366台(4台)	

※表中の（ ）は身障者専用駐車台数で内数

新石垣空港計画平面図
S=1/800



工事名	H21新石垣空港ターミナル地区利便施設等 計画設計業務委託		
図面名	詳細平面図		
年月日	平成 23 年 2 月 日		
尺 度	1/800	図面番号	/
会社名			
事務所名	沖縄県 新石垣空港建設事務所		

現石垣空港駐車場の現状

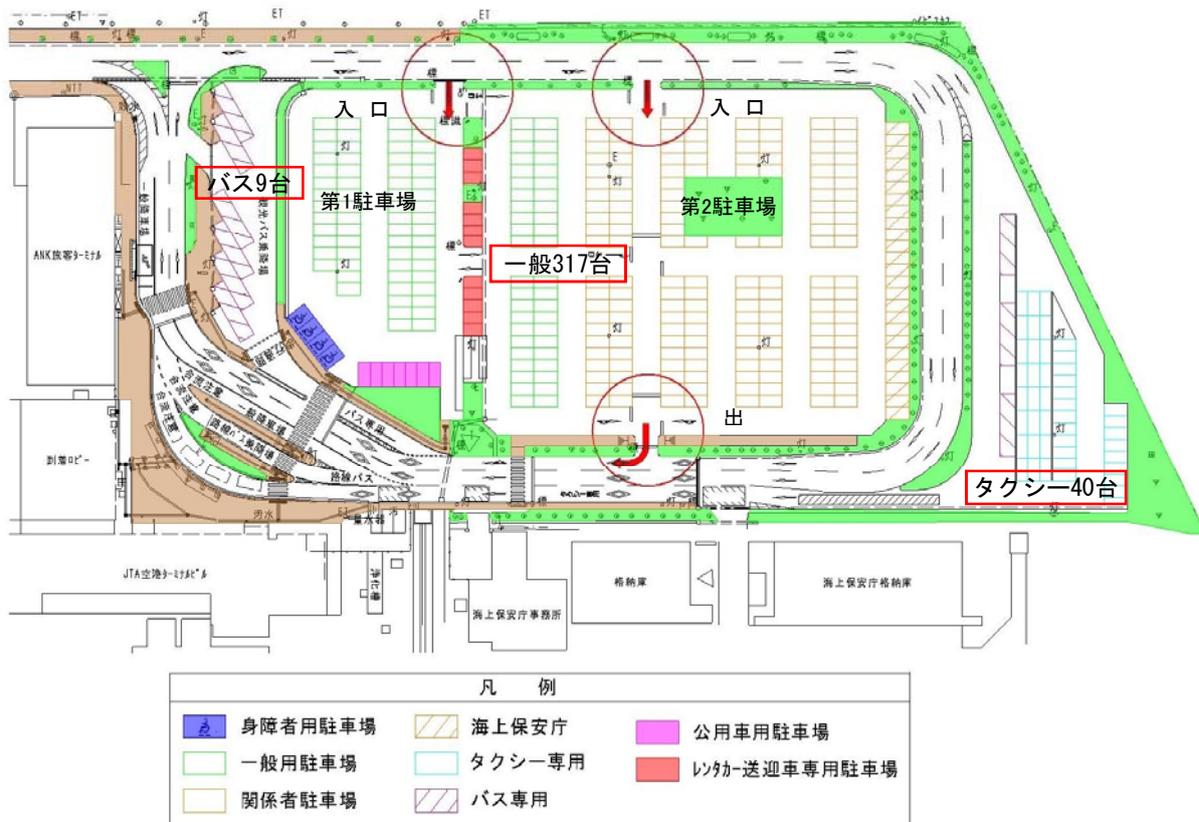
資料-3

1 駐車場概要

石垣空港の駐車場は、平成17年に空港駐車場の利便性向上を図るため整備工事が行われた。

駐車場は、**一般用294台**、**身障者用4台**、**レンタカー・送迎車用12台**、**公用車用7台**の合計**317台**が収容ができる駐車場が整備されている。また、駐車場とは別に、**タクシー40台**、**バス9台**の専用プールが整備されている。

空港駐車場の入出形態は、入口2ヶ所、出口1ヶ所が設けられており、出入り口に接する外周道路は一方通行と規制されている。



石垣空港駐車場現況図

2 空港利用車両状況調査

8月13日(金)から8月16日(月)の期間、石垣空港の利用者を対象に利用状況調査を行った。

3 調査結果

1) 車両台数

(1) 空港利用車両台数

空港に入出した車両台数は、平均6,938台である。旅客一人あたり空港利用台数は0.61台／人である。

○空港入出車両日別台数集計

観測日	天候	乗降客数（人）			空港入出車両台数（台）		
		乗降客数	降客数	合計	入車台数	出車台数	合計
平成22年8月13日（金）	晴れ	2,902	2,722	5,624	3,825	3,840	7,665
平成22年8月14日（土）	晴れ	2,738	3,033	5,771	3,283	3,168	6,451
平成22年8月15日（日）	晴れ	3,081	2,710	5,791	3,302	3,371	6,673
平成22年8月16日（月）	晴れ	2,648	2,634	5,282	3,402	3,559	6,961
合計		11,369	11,099	22,468	13,812	13,938	27,750
平均				5,617	3,453		6,938

旅客一人あたり空港利用台数＝空港入車台数／乗降客数合計

(2) 駐車場利用車両台数

空港駐車場に入出した車両台数は、平均2,304台である。旅客一人あたり駐車場利用台数は0.21台／人である。

○空港入出車両日別台数集計

観測日	天候	乗降客数（人）			駐車場入出車両台数（台）		
		乗降客数	降客数	合計	入車台数	出車台数	合計
平成22年8月13日（金）	晴れ	2,902	2,722	5,624	1,240	1,175	2,415
平成22年8月14日（土）	晴れ	2,738	3,033	5,771	1,091	1,095	2,186
平成22年8月15日（日）	晴れ	3,081	2,710	5,791	1,191	1,166	2,357
平成22年8月16日（月）	晴れ	2,648	2,634	5,282	1,172	1,084	2,256
合計		11,369	11,099	22,468	4,694	4,520	9,214
平均				5,617	1,174		2,304

旅客一人あたり駐車場利用台数＝駐車場入車台数／乗降客数合計

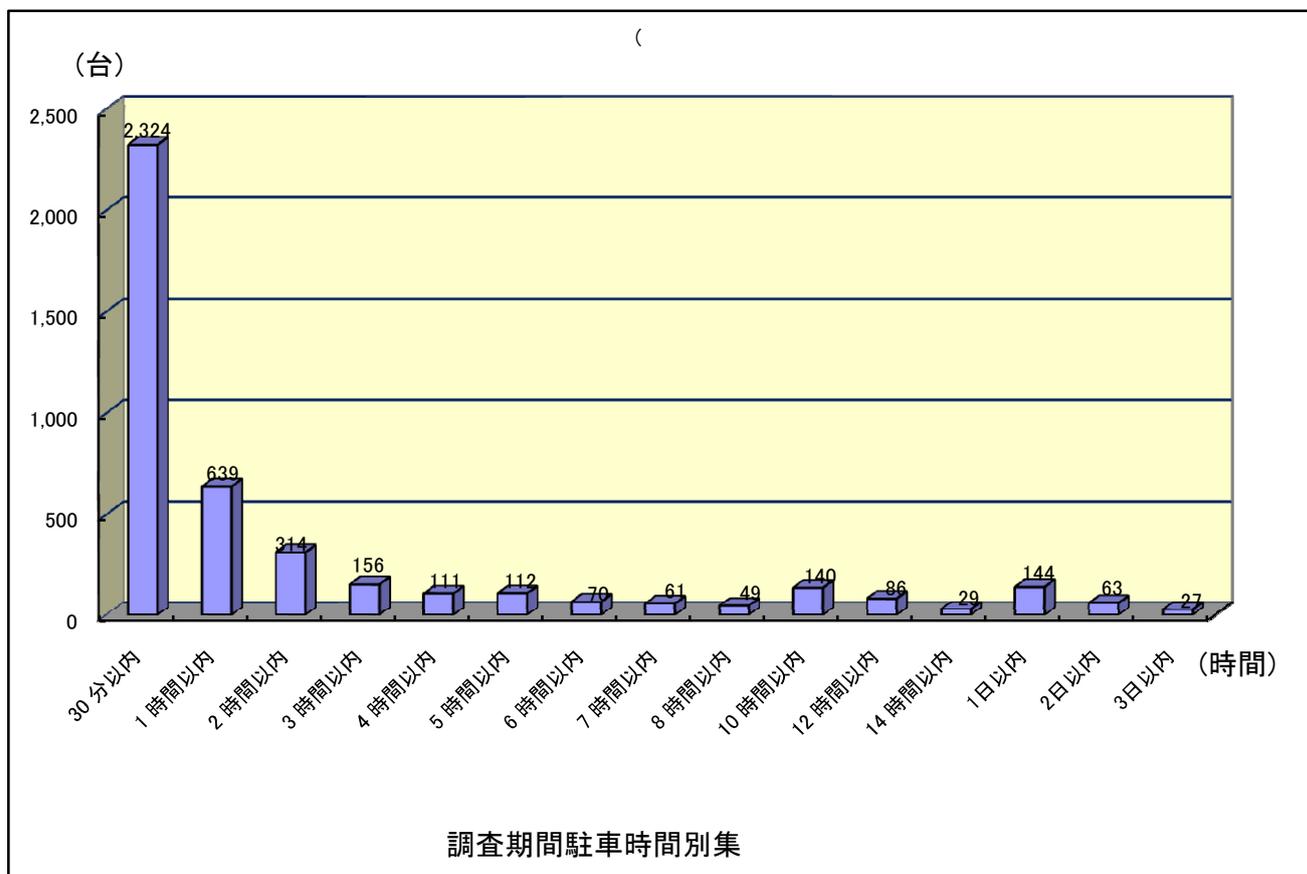
2) 駐車時間調査

(1) 駐車時間

空港駐車場における駐車時間は、1時間以内が約6割を占める。

○車種別駐車台数・駐車時間集計表

観測日	平成22年8月13日(金)～平成22年8月16日(月)								計	比率
駐車時間	駐車場利用車種別台数									
	乗用車	バイク	貨物車	原付	二輪車	タクシー	バス	送迎車		
30分以内	1,519	277	101	15	4	36	0	372	2,324	45.81%
1時間以内	481	54	18	6	3	24	0	53	639	12.60%
2時間以内	212	45	8	6	7	7	0	29	314	6.19%
3時間以内	81	26	13	3	0	6	0	27	156	3.08%
4時間以内	74	15	4	3	2	2	0	11	111	2.19%
5時間以内	76	15	4	8	2	1	0	6	112	2.21%
6時間以内	57	5	3	0	4	0	0	1	70	1.38%
7時間以内	46	5	1	5	1	3	0	0	61	1.20%
8時間以内	38	3	3	1	1	0	0	3	49	0.97%
10時間以内	125	3	7	3	1	0	0	1	140	2.76%
12時間以内	74	3	4	2	2	0	0	1	86	1.70%
14時間以内	24	1	1	2	1	0	0	0	29	0.57%
1日以内	94	11	14	19	6	0	0	0	144	2.84%
2日以内	46	1	5	9	2	0	0	0	63	1.24%
3日以内	19	0	4	4	0	0	0	0	27	0.53%
入出不明車両	475	94	47	39	35	23	0	35	748	14.74%
合計	3,441	558	237	125	71	102	0	539	5,073	100.00%



3) 時間外利用調査

(1) 時間外駐車台数

時間外駐車（公共交通とバイクを除く）は平均73台であり、空港駐車場317台の約23%を占める。

○時間外駐車状況結果 (台)

観測日	観測時間	早 朝 (AM6:10~AM6:30)、夜 間 (PM9:10~PM9:30調査)							計
		乗用車	バイク	貨物車	原付	自動二輪	タクシー	バス	
8月13日(金)	早朝	42	3	3	15	5	0	0	68
	夜間	67	6	12	21	5	0	0	111
8月14日(土)	早朝	59	6	13	17	3	0	0	98
	夜間	74	4	5	20	3	0	0	106
8月15日(日)	早朝	71	3	7	13	7	0	0	101
	夜間	62	3	6	11	5	0	0	87
8月16日(月)	早朝	60	3	7	7	6	0	0	83
	夜間	58	1	8	9	5	0	0	81
計	早朝	232	15	30	52	21	0	0	350
	夜間	261	14	31	61	18	0	0	385
合 計		493	29	61	113	39	0	0	735
平 均		73							92

(2) 夜間駐車台数

夜間駐車（公共交通とバイクを除く）は平均65台であり、空港駐車場317台の約20%を占める。また、週末（金）（土）の夜間駐車が多い傾向がある。

○泊車駐車状況結果 (台)

観測日	車 種 別							計
	乗用車	バイク	貨物車	原付	自動二輪	タクシー	バス	
8月13日(金)夜間～ 8月14日(土)早朝	51	6	12	14	3	0	0	86
8月14日(土)夜間～ 8月15日(日)早朝	61	3	5	13	2	0	0	84
8月15日(日)夜間～ 8月16日(月)早朝	47	3	6	5	3	0	0	64
合 計	159	12	23	32	8	0	0	234
平 均	65							78

(3) 連泊駐車台数

連泊車両のうち、1泊車両が多い結果となっている。

○連泊駐車状況結果 (台)

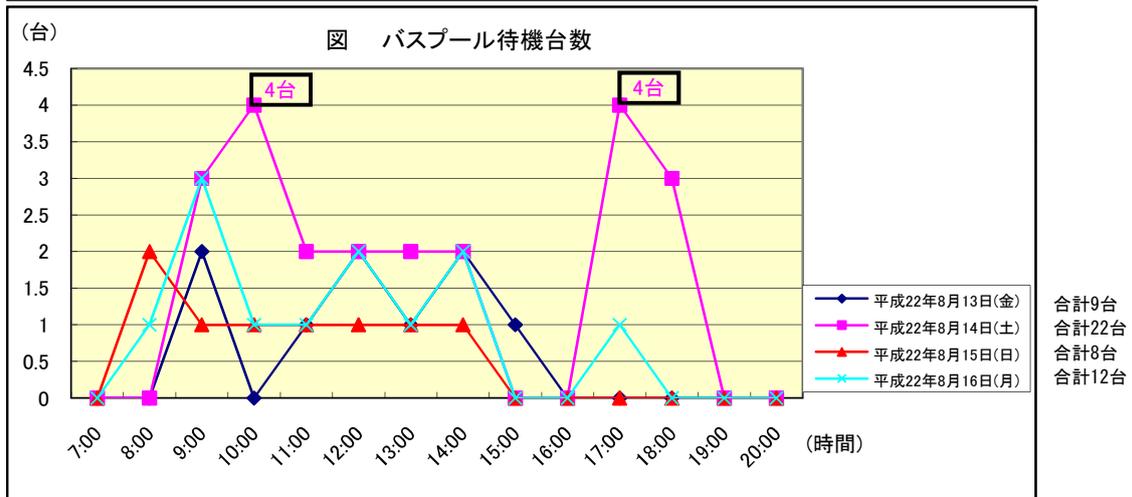
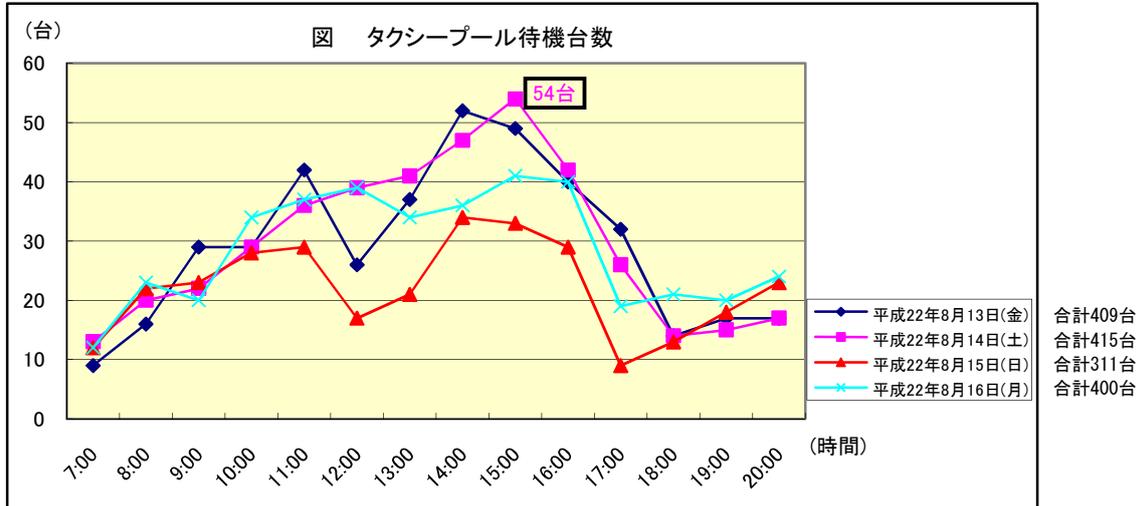
泊車日数	早 朝 (AM6:10~AM6:30)、夜 間 (PM9:10~PM9:30調査)							計
	乗用車	バイク	貨物車	原付	自動二輪	タクシー	バス	
1泊車両	55	10	9	8	4	0	0	86
2泊車両	25	1	1	5	2	0	0	34
3泊車両	18	0	4	5	0	0	0	27
合 計	98	11	14	18	6	0	0	147

4) 観光、送迎バス・タクシープール待機台数調査

(1) 待機台数

到着時刻の便の多さに比例し待機台数が多くなり、**タクシーの台数が最大54台**、**バスは時刻に関係なく最大4台**が待機している結果となった。

○待機台数結果



5) 空港バス利用乗降客数調査

(1) 空港バス利用乗降客数

空港バスの平均乗客数は114人、降客数216人であり、空港からの乗客数が降客数に比べ約半数である。バスは日35便運行していることから、空港からのバス利用客が1便当たり3.2人の乗客となっている。

○空港バス利用乗降客日別集計

(日当り)

観測日	天候	飛行機乗降客数			空港バス利用乗降客数		
		乗客数	降客数	合計	乗客数	降客数	合計
平成22年8月13日(金)	晴れ	2,902	2,722	5,624	111	218	329
平成22年8月14日(土)	晴れ	2,738	3,033	5,771	115	248	363
平成22年8月15日(日)	晴れ	3,081	2,710	5,791	119	216	335
平成22年8月16日(月)	晴れ	2,648	2,634	5,282	111	182	293
合計		11,369	11,099	22,468	456	864	1,320
平均		2,842	2,775	5,617	114	216	330

空港利用者対象アンケート結果

資料-4

1 アンケート調査

(1) 概要

アンケート調査は、石垣空港ターミナルにおいて、平成22年8月13日(金)～平成22年8月16日(月)の期間、空港利用者及び施設利用者の方インタビュー形式で実施し、**総計499人の回答**が得られた。

(2) 回答者の住所

総計499人のうち、**市内が473人で、94.8%の割合**となっている。

2 アンケート結果

1) 飛行機利用の有無状況

飛行機利用の有無について、インタビュー調査を行った。「飛行機を利用する(利用した)」は34.9%、「**利用しない**」が**65.1%**となっている。

	回答数	比率
利用する	174	34.9%
利用しない	325	65.1%
計	499	100.0%

2) 空港までの交通手段状況

交通手段は、「**自家用車・社用車等**」利用が**54.5%**を占めている。次いで「その他(送迎等)」22.9%となっている。この調査結果で、自家用車等を利用している車輛の多さが分かる。

	回答数	比率
自家用車・社用車等	272	54.5%
オートバイ(原付)	15	3.0%
オートバイ(自動二輪車)	1	0.2%
タクシー利用	87	17.4%
バス(観光バス)	3	0.6%
バス(島内路線バス)	5	1.0%
レンタカーを利用	2	0.4%
その他	114	22.9%
計	499	100.0%

3) 石垣空港駐車場利用状況

駐車場利用の有無については、「**利用した(利用する)**」が**60.3%**、「利用しない」が39.7%となっており、ほとんどの方が駐車場を利用している。

	回答数	比率
利用した(利用する)	301	60.3%
利用しない	198	39.7%
計	499	100.0%

4) 駐車場を利用した、駐車時間(予定)

駐車時間については、「**0.5時間以内**」が67.3%、次いで「**1.0時間以内**」の11.5%となっている。上位2つの時間帯が全体に占める割合は**78.8%**となっている。

「0.5時間以内」、「1.0時間以内」の駐車場利用は「お出迎え、お見送り」の方が多く、「3.0時間以降」の駐車場利用者は仕事関係(空港関係者)が占めている。

駐車時間	回答数	比率
0.5時間以内	193	67.3%
1.0時間以内	33	11.5%
2.0時間以内	4	1.4%
3.0時間以内	1	0.4%
4.0時間以内	1	0.4%
5.0時間以内	2	0.7%
6.0時間以内	4	1.4%
7.0時間以内	1	0.4%
8.0時間以内	39	13.6%
9.0時間以内	2	0.7%
10.0時間以内	4	1.4%
11.0時間以上	3	1.1%
計	287	100.0%

5) 泊車の駐車場利用

泊車の駐車場利用については、「1日以内」が71.4%、次いで「2日以内」の14.3%、次いで「3日以内・5日以内」の7.1%となっている。回答者全体に占める割合は2.8%が泊車の駐車利用となっている。

泊車駐車日数	回答数	比率
1日以内	10	71.4%
2日以内	2	14.3%
3日以内	1	7.1%
5日以内	1	7.1%
計	14	100.0%

14人÷499人=2.8%

6) 駐車場または空港の利用目的

駐車場の利用目的として、「お出迎えのため」が23.9%、次いで「お見送りのため」が22.7%の結果となっており、送迎を目的とした利用は46.6%を占めている。「その他」の10.4%については、私用（帰省、病院等）の回答が得られた。

	回答数	比率
お出迎えのため	119	23.9%
お見送りのため	113	22.7%
出張・旅行のため	107	21.4%
荷物を送るため	0	0.0%
荷物を受け取るため	2	0.4%
仕事のため	106	21.2%
その他	52	10.4%
計	499	100.0%

7) 駐車場所

駐車場場所として、「駐車場内の所定位置」が96.4%、次いで「外周道路」が1.6%の結果となっており、ほとんどの方が適正に駐車を行っている。

	回答数	比率
駐車場内の所定位置	295	96.4%
駐車場内の所定外位置	4	1.3%
外周道路	5	1.6%
その他	2	0.7%
計	306	100.0%

8) 現在の駐車場に於いて利用上支障になること

駐車場の利用上支障になることについて、「利用上支障にならない」が49.9%、次いで「その他」が19.3%、「一杯で使用しにくい」が16.7%となっている。

※複数回答

	回答数	比率
駐車場が一杯で使用しにくい	91	16.7%
長時間駐車、有効に機能していない	53	9.7%
区画線外に駐車していない車輛が多く危険	16	2.9%
駐車場外での外周道路、ターミナル前駐車	8	1.5%
利用上支障になることはない	272	49.9%
その他	105	19.3%
計	545	100.0%

9) 新石垣空港への交通手段

新石垣空港への交通手段について、「**自家用車・社用車等利用**」が**66.1%**と半数を占め、駐車場利用者が多い。次いで「バスを利用（島内路線バス）」が12.0%、「タクシー利用」が10.2%となっている。「その他」の8.2%は送迎が主である。

	回答数	比率
自家用車・社用車等利用	330	66.1%
オートバイを利用（原付）	10	2.0%
オートバイを利用（自動二輪車）	3	0.6%
タクシー利用	51	10.2%
バスを利用（観光バス）	0	0.0%
バスを利用（島内路線バス）	60	12.0%
レンタカーを利用	4	0.8%
その他	41	8.2%
計	499	100.0%

10) 有料化された場合の駐車場の利用意志

有料化した場合の駐車場利用状況について、「駐車場を利用する」が45.9%、「料金による」が13.6%で**利用する意志ありの両者**で過半数を超え**59.5%**を占める。「公共交通機関を利用する」が25.9%である。「その他」の14.6%は主に送迎である。

	回答数	比率
駐車場を利用する	229	45.9%
料金による	68	13.6%
公共交通機関を利用する	129	25.9%
その他	73	14.6%
計	499	100.0%

11) 公共交通機関を利用する交通手段

公共交通機関を利用する交通手段として、「**島内路線バス**」が**56.6%**と多く、次いで「タクシー」が34.1%、「自家用車等による送迎」「その他」が4.7%となっている。

	回答数	比率
タクシー	44	34.1%
島内路線バス	73	56.6%
自家用車等による送迎	6	4.7%
その他	6	4.7%
計	129	100.0%

12) 公共有料駐車場の利用

公共有料駐車場の利用状況として、「**利用したことが有る**」が**54.1%**占め、次いで「利用したことが無い」が45.9%、となっている。

	回答数	比率
利用したことが有る	270	54.1%
利用したことが無い	229	45.9%
計	499	100.0%

13) 公共有料駐車場の料金設定

公共有料駐車場の料金設定として、「**妥当な料金だと思う**」が**68.9%**を占め、次いで「料金が高いと思う」が17.0%、となっている。「その他」が14.1%である

	回答数	比率
料金が高いと思う	46	17.0%
妥当な料金だと思う	186	68.9%
その他	38	14.1%
計	270	100.0%

14) 新石垣空港駐車場に対する意見・要望

意見要望	回答数	率	
駐車場の無料化の意見・要望	53	18.0 %	25.0 %
駐車場の条件付き無料の意見・要望	21	7.0 %	
駐車場の有料化の意見・要望	43	15.0 %	36.0 %
駐車場の条件付き有料化の意見・要望	62	21.0 %	
夜間駐車場の意見・要望	18	6.0 %	39.0 %
駐車場配置の意見・要望	41	14.0 %	
駐車場スペースの意見・要望	30	10.0 %	
その他の意見・要望	26	9.0 %	
計	294	100.0 %	100.0 %

上記表に示すように、駐車場の無料と送迎の無料など条件付無料で25.0%、駐車場の有料化賛成と低料金希望などの条件付有料化で36.0%、夜間駐車・駐車場配置・スペース・その他で39.0%となっており、無料意志、有料意志で比較すると、**有料意志が若干上回っている。**

1 アンケート調査

(1)概要

石垣空港内事業者および空港を利用している石垣市観光協会加盟対象にFAXアンケート調査を行い、駐車場の有料化に対する意見を伺った。

(2)回答率

総計71事業者のうち、32事業者より回答を頂き、**回答率は45%**である。

2 アンケート結果

1)空港内事業者

(1)回答状況

27事業者のうち17事業者が回答。

(2)駐車場有料化について

有料化を希望事業者が17%、駐車場無料化が25%、一般駐車場有料・従業員駐車場は低料金 25%、一般駐車場有料・従業員駐車場無料33%となっており空港内事業者は**無料化の意見が多い**。

(3)有料化意見

①有料化にすべき。無料だと長期駐車が増えて有効駐車台数が少なくなることは明白。現石垣空港では特に週末半分近くが夜間駐車で占領されていて道路に違法駐車があふれ、安全上も好ましくない。元々、新空港における収容台数も現空港の3割ぐらいいか増えないのでスペース不足が予想される。新空港が出来ても駐車場があふれるのでは空港機能の障害となる。

②有料化は進めるべき、現空港でも長期に駐車する車が多く、特に週末から土日にかけてはシーズンに関係なく夜間駐車され、空港関係者の車両が駐車できず困惑している。また、道路への違法駐車もあり安全面でも問題といえる。空港管理事務所により夜間駐車車両には駐車禁止のステッカーを貼りつけているが抑止力が無い。新空港は距離的にも交通アクセスを鑑みてマイカー通勤や一般車両(夜間)が間違いなく増えると思料する。新空港は現行より駐車スペースが増える計画としているが、収納スペースが足りているのか、事前リサーチで算出されているのか懸念がある。

③有料化への対応は必要であると考えますが、空港施設内での業務に当たる職員等の専用駐車場を確保してほしい。出来るなら職員占用駐車場は無料、若しくは低料金に設定していただきたい。

④年間契約で安い料金で有料化を希望いたします。

⑤従業員駐車場と一般駐車場を分けて、従業員駐車料は安価にしていきたい。

(4)無料化意見

①空港関係事業者に対しては無料、一般市民、観光客などに対し有料化が望ましいと思います。

②一般車両に対しての有料化は実行しても良いと思うが、空港での労働者に対しては、許可証を発行するなどの策を考えたほうが良いと思う。

③空港に勤務する従業員の駐車場はできれば無料化を希望します。通勤距離も遠くなり、ガソリン代も離島は本島と比べて割高で燃料費だけでもすごかかります。

④有料化になると市民の生活、観光産業に大きな影響を与えたいと思います。出来るだけ負担低減す

る方向で検討していただきたい。

⑤従業員専用は無料駐車場が必要。一般駐車場は有料化が望ましい。

(5)その他の意見

①現計画の収容台数で早晚、容量不足が問題となることが懸念されるので立体駐車場も検討すべき。大型バス、レンタカー待機スペースも確保する必要有り。観光地ではレンタカーが増加しており、空港からレンタカー店の送迎は今や常識。送迎バス待機、乗り降りのスペースを確保して機能性を高める必要がある。那覇空港の到着ロビー前は一般自動車、タクシー、レンタカー送迎車両がミックス混雑しているので、その事例を事前検証し新石垣の参考にすべき。従業員駐車場の収容台数は現計画では100台となっているが明らかに不足。現在の空港関係業務従事者（航空会社関連、ビルテナント各社従業員）は現状で200名ぐらい。路線バスでは、始業、就業の時間帯が合わずマイカー通勤が相変わらず主流と見込まれる。

②弊社では職員が通勤として利用する車両が常時80台前後となり、週末ともなれば、現空港においてもスペースの確保が困難な状況にある。併せて、弊社の勤務時間は早朝6時半の出勤や、帰社が21時過ぎとなる勤務も有り、路線バスの利用対象外となることから、自家用車での出勤が必要となる。以上のことを踏まえると、新空港の駐車場計画案では、当社に限らず、現空港で従事する職員の駐車スペースが確保されているか、さらに規模拡大に伴う新規入居者や空港職員の増加分が考慮されているか疑問であり、今般のアンケートで確りと反映していただきたい。さらに近年の観光需要において、レンタカー利用の普及はご高察のとおりであり大型観光バスとレンタカー送迎車両の乗降スペースの確保に加え、雨天時対策として降車場から空港までのアーケードの設置など、利便性の向上にも努めて頂きたい。

③観光バス、送迎バス、レンタカー当の営業車両の駐車位置を確保して、一般駐車場と区別してほしい。また、現在オートバイ通勤の職員も車通勤になる可能性があるため、スペースの確保を御願いたい。

④レンタカー利用の乗り入れルールをタクシー等、一般乗車と分離してほしい。貨物ターミナルへの駐車場確保と利便性を計画の中に入れてほしい。また、台風時の観光客およびキャンセル待ちのお客様の待機スペースを十分に広くしてほしい。

⑤地元民、観光客の利便性を考え、また、交通機関(バス、タクシー等)の専用駐車場の確保を御願いたい。

⑥タクシーの客待ち用、レンタカーのお客様降車場等の整備、また、駐車場はタクシー、貸し切りバス、レンタカー等のプール駐車場の設置。アクセス道路について、高速道路的な高架橋タイプの道路を市街地と空港を結ぶ。海岸道路タイプで高速道路的な高架橋タイプの道路を市街地と空港を結ぶ。いずれかで市街地と空港のアクセス。

2)レンタカー事業者

(1)回答状況

29事業者のうち8事業者が回答。

(2)駐車場有料化について

有料化を希望事業者が3件、条件付き有料化が1件で回答数が少ない中でも**有料化に賛成が多い**。

(3)有料化意見

- ①新石垣空港の駐車場は有料化の方がよい。現状、空港関係職員の車両が空港駐車場の大半を占めており利用者に対し不便を掛けているのでは。
- ②有料化を行うと、短時間空港を利用者する方々が、今以上に駐車場に駐車せずに降車場近くに、長時間停車する方が増えると思います。有料化にするに当たり行政サービスが向上できるのであれば、有料化にして改善を考えて欲しい。
- ③一般の利用者に対しては、有料化にするのが良いと思います。また、レンタカー、ダイビングショップ、その他の業者に対しては、空港利用が多いため月の駐車場契約等を検討してほしい。

(4)その他の意見

- ①乗り捨て等、一部サービスを考慮してほしい。
- ②那覇空港のように、レンタカー送迎車両の停留場所を設けてもらいたい。現空港の様に到着ロビーで利用者を迎えるスタイルでは、混雑を招き、他の利用者が迷惑を掛けているのが現状で、混雑を避ける様な取り組みをお願いしたい。
- ③バス、タクシー、レンタカー観光でこられる方々の多くは、いずれかを利用して行動を取りますので、那覇空港のように各乗り場を設けて今よりも大きなスペースを作って頂いて利用する方、送迎する従業員にとってもより安全な場所を作って頂きたい。また、一般車両に関しても降車場を設け対応して頂きたい。

3)タクシー事業者

(1)回答状況

9事業者のうち4事業者が回答。

(2)駐車場有料化について

有料化に対して、回答のあった事業者は、全てが**有料化に賛成**であると回答が得られた。

(3)有料化意見

- ①石垣空港は無料のため長時間駐車が目立ちます。旅客事業者としては、有料化に賛成です。
- ②有料化に賛成ですが、公共機関であるバス、タクシーの待機場所の客待ちスペースを広くお願いします。
- ③新空港内駐車場は有料化すべきです。現在でも長時間駐車や2～3日駐車されている車両も多いです。新空港ができ市内かもっと遠くなると今以上に駐車車両は増えると思います。有料化にしなければ、タクシーやバスなどを利用する人が減ります。要望としては、タクシー、バス車両レーン、一般、レンタカー等送迎レーンを分けてもらいたい。また、駐車指導員もお願いします。
- ④駐車場有料化は賛成です。有料化に伴い一般車両がお客様降車場での駐車が多くなると思われる。また、現空港でもタクシーお客様の降車時の混乱があり、事故等に対し大変不安である。

(4)その他の意見

- ①タクシー待機場については、50台から60台の待機できるスペースが必要だと思います。地元タクシー事業者との事前調整を望みます。タクシー待機場には、トイレの設置を希望します。タクシー乗り場は、長距離、近距離の区別がトラブル防止のために必要だと思われます。
- ②タクシー等の公共機関の乗り物の待機場所は危険性のないように、広いスペースを取って下さい。

③乗降車場の風雨対策の屋根の設置。タクシー降車場の明確化。

4)バス事業者

(1)回答状況

3事業者のうち1事業者が回答。

(2)駐車場有料化について

特に意見なし。

(3)その他の意見

①現空港の路線バス停留所と貸し切りバスの駐車場においては、ターミナルから離れた位置に設置されており、停留所には屋根がされていますが、通路や駐車場には雨よけや日差しを遮る対策がなされて居らず風雨に濡れながら移動することとなり、利用者に不便な状況です。新空港においては、バス利用者が快適に安全に、ご利用頂くように空港バス停留所や駐車場の現況をご理解いただき、停留所や駐車場の位置をご検討をお願い致します。

5)海運事業者

(1)回答状況

3事業者のうち2事業者が回答。

(2)駐車場有料化について

有料化に対して、回答のあった事業者は、**有料化に反対**であると回答が得られた。

(3)無料化意見

①一般的に有料化するのが通常の駐車場だと思いますが、地域住民の利便性を考えると有料化が良いとは思いません。

(4)その他の意見

①色々な問題はあるとは思いますが、ハード面(道路の構造、広さ)で手抜きして、大事故につながる可能性があります。安全に空港まで走れるような道路とゆとりのある駐車場を建設する必要が有ります。離島ターミナルの駐車場は、狭く通路が分かりにくいいため、駐車場ゲートで観光客が立ち往生したり、一方通行道路を逆走したりと危ない状況にあります。

1 有料化の経緯

これまで、長時間駐車を解消するため、現在の駐車場が供用開始した平成9年から長年に亘り夜間駐車禁止看板の設置や夜間駐車車両への張り紙、マスコミ報道による啓発を実施してきたが、一向に改善されない状況であった。

一方、宮古空港の利用者は、観光客を中心として年間乗降客数は100万人を突破しており、駐車場利用者も多くなっている。こうした状況に伴い、一般住民からの苦情や地元の経済団体から駐車場の適正管理について要望があった。

空港を管理する沖縄県及び宮古島市としては、限られた駐車台数を多くの空港利用者が利用できるように長時間駐車を遠慮いただくよう協力を呼びかけてきた。しかしながら、改善されない長時間駐車の問題をこれ以上放置することはできないことから、平成20年度には地元団体等で構成された懇話会で有料化についての審議を行い、その結果、懇話会から、空港駐車場の適正な管理を行うため、早期に有料化を実施するよう提言が出された。こうした提言も受け、解決策として有料化という手段を選択した。

宮古空港駐車場の有料化は、長年の課題である長時間駐車を解消し、いつでも駐車しやすい環境を創り出すための方策として導入したものである。

有料化後は、夜間駐車は激減し通路などへの迷惑駐車もなくなり利用しやすくなっている状況である。



有料化の効果について報じる新聞記事
(宮古新報 平成22年8月11日)



有料化の効果について報じる新聞記事
(宮古毎日新聞 平成22年8月18日)

2 有料化前後の比較

1) 外周道路利用台数の比較

有料化前では、旅客1人当り外周道路利用台数は、3日間平均で0.522台/人、最大で0.575台/人、有料化後では、調査期間の曜日は異なるが3日間平均で0.565台/人、最大で0.641台/人となっており、有料化前と比較し外周道路を利用している台数は増加している。空港駐車場の有料化による影響が少なからずあるものと思われる。

外周道路利用台数(有料化前)

調査日	天候	乗降客数			空港ゲート部 入車車両台数	空港駐車場 入庫車両台数	外周道路 利用台数	旅客1人当り 外周道路 利用台数
		乗客数	降客数	合計				
2007/9/7(金)	晴一時曇	1,660	1,118	2,778	2,592	995	1,597	0.575
2007/9/8(土)	雨時々曇一時晴	1,531	1,437	2,968	2,390	956	1,434	0.483
2007/9/9(日)	大雨時々曇	1,315	1,452	2,767	—	—	—	—
2007/9/10(月)	曇一時雨	1,430	1,654	3,084	2,578	1,003	1,575	0.511
平均(9/9を除く)		1,540	1,403	2,943	2,520	985	1,535	0.522

注1:乗降客数は宮古空港管理事務所資料による。

注2:9月9日は、大雨のため調査は16時で打ち切った。また、9月10日は大雨のため20:30で打ち切った。

注3:外周道路利用台数は、空港ゲート部入車車両台数から空港駐車場入庫台数を引くことで算出した。

注4:各車両台数は二輪を除く。

外周道路利用台数(有料化後)

調査日	天候	乗降客数			空港ゲート部 入車車両台数	空港駐車場 入庫車両台数	外周道路 利用台数	旅客1人当り 外周道路 利用台数
		乗客数	降客数	合計				
2010/11/19(金)	大雨一時曇	1,960	1,770	3,730	—	—	—	—
2010/11/20(土)	晴時々曇	1,639	1,961	3,600	2,726	702	2,024	0.562
2010/11/21(日)	晴	1,711	1,987	3,698	2,368	703	1,665	0.450
2010/11/22(月)	曇時々雨	1,589	1,199	2,788	2,403	616	1,787	0.641
平均(11/19を除く)		1,729	1,643	3,373	2,565	659	1,906	0.565

注1:乗降客数は宮古空港管理事務所資料による。

注2:11月19日は、大雨及び雷注意報が発令されたため、調査は中止とした。

注3:外周道路利用台数は、空港ゲート部入車車両台数から空港駐車場入庫台数を引くことで算出した。

注4:各車両台数は二輪を除く。

2) 旅客1人当り駐車台数の比較

有料化前では、3日間平均で0.104台/人、最大が0.111台/人、有料化後では、調査期間の曜日は異なるが3日間平均で0.063台/人、最大で0.067台/人となっており、有料化前と比較し駐車場を利用している台数は減少している。また、駐車場利用車種についても、一般車両の比率は、減少しており空港駐車場の有料化による影響が少なからずあるものと思われる。

旅客1人当り駐車台数(有料化前)

	ピーク時間	一般車両	レンタカー	計 (二輪除く)	乗降客数 (人/日)	旅客当り 駐車台数	備考
2007/9/7(金)	19:00	284	24	308	2,778	0.111	
2007/9/8(土)	16:00	293	22	315	2,968	0.106	
2007/9/10(月)	13:00	273	23	296	3,084	0.096	
平均		282	23	306	2,943	0.104	
車種別比率		92.2%	7.5%	100.0%			

注1:一般車両は、乗用車、貨物車、不明車両、タクシーの合計。

注2:レンタカーは、レンタカー、送迎車の合計。

旅客1人当り駐車台数(有料化後)

	ピーク時間	一般車両	レンタカー	計 (二輪除く)	乗降客数 (人/日)	旅客当り 駐車台数	備考
2010/11/20(土)	15:00	207	23	230	3,600	0.064	
2010/11/21(日)	15:00	193	29	222	3,698	0.060	
2010/11/22(月)	15:00	172	14	186	2,788	0.067	
平均		190	22	213	3,362	0.063	
車種別比率		89.2%	10.3%	100.0%			

注:一般車両は、乗用車(一般)、貨物車の計である。

3) 駐車場利用時間の比較

駐車場利用時間は、以下に示すとおり駐車時間別比率では、有料化前と有料化後に大きな差はない。ただし、有料化後では、駐車場利用台数が有料化前と比較し大幅に減少している。

駐車場利用時間(有料化前)

滞留時間	乗用車		レンタカー		計	
	台数	比率	台数	比率	台数	比率
30分以内	1,279	48.6%	575	63.3%	1,854	52.4%
1時間以内	587	22.3%	155	17.1%	742	21.0%
2時間以内	224	8.5%	86	9.5%	310	8.8%
3時間以内	37	1.4%	34	3.7%	71	2.0%
6時間以内	128	4.9%	21	2.3%	149	4.2%
9時間以内	111	4.2%	11	1.2%	122	3.4%
12時間以内	92	3.5%	2	0.2%	94	2.7%
1日以内	73	2.8%	17	1.9%	90	2.5%
2日以内	60	2.3%	7	0.8%	67	1.9%
3日以内	32	1.2%	0	0.0%	32	0.9%
3日以上	9	0.3%	0	0.0%	9	0.3%
合計	2,632	100.0%	908	100.0%	3,540	100.0%
車種別比率	74.4%		25.6%		100.0%	

注:乗用車には、貨物車、タクシーを含む。レンタカーには送迎車を含む。
駐車時間がわかる車両のみを対象に集計した。

駐車場利用時間(有料化後)

滞留時間	乗用車		レンタカー		計	
	台数	比率	台数	比率	台数	比率
30分以内	546	34.7%	252	63.2%	798	40.5%
1時間以内	483	30.7%	89	22.3%	572	29.0%
2時間以内	156	9.9%	38	9.5%	194	9.8%
3時間以内	29	1.8%	7	1.8%	36	1.8%
6時間以内	67	4.3%	6	1.5%	73	3.7%
9時間以内	85	5.4%	3	0.8%	88	4.5%
12時間以内	103	6.5%	0	0.0%	103	5.2%
1日以内	68	4.3%	2	0.5%	70	3.5%
2日以内	33	2.1%	2	0.5%	35	1.8%
3日以内	3	0.2%	0	0.0%	3	0.2%
3日以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,573	100.0%	399	100.0%	1,972	100.0%
車種別比率	79.8%		20.2%		100.0%	

注:乗用車には、貨物車、タクシーを含む。レンタカーには送迎車を含む。
駐車時間がわかる車両のみを対象に集計した。

4) 夜間駐車台数の比較

有料化前に比べ大幅に減少しており、各日とも**有料化前の 30%程度**となっている。有料化の目的でもあった泊車による駐車スペースの占有については、効果があったものと考えることができる。

夜間駐車台数(有料化前)

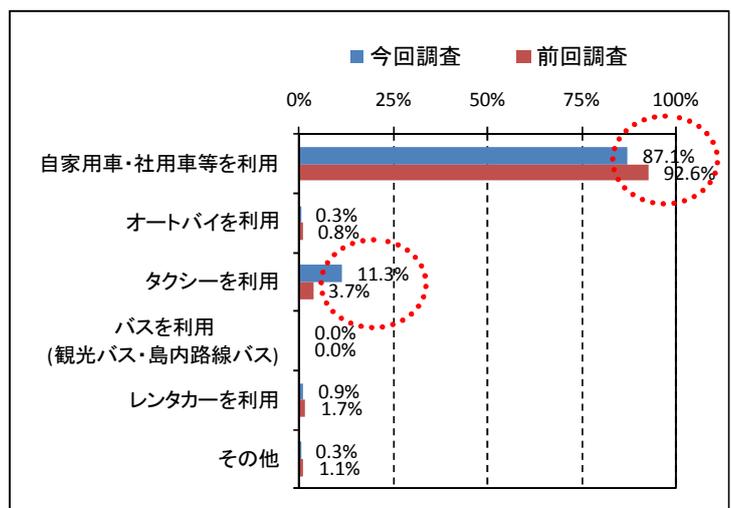
	観測時間	乗用車	レンタカー	貨物車	二輪車 (バイク)	合計	二輪除く 計
2007/9/7(金)	20:30~21:00	155	6	14	—	175	175
2007/9/8(土)	20:30~21:00	169	11	20	—	200	200
2007/9/9(日)	20:30~21:00	180	14	2	—	196	196
2007/9/10(月)	20:30~21:00	109	7	15	—	131	131

夜間駐車台数(有料化後)

	観測時間	乗用車	レンタカー	貨物車	二輪車 (バイク)	合計	二輪除く 計
2010/11/19(金)	22:00~22:30	44	3	2	15	64	49
2010/11/20(土)	22:00~22:30	59	4	5	19	87	68
2010/11/21(日)	22:00~22:30	35	2	1	14	52	38
2010/11/22(月)	22:00~22:30	36	1	0	12	49	37

5) 交通手段の比較

宮古空港までの交通手段について、有料化前と比較すると「自家用車・社用車等を利用」が減少し「タクシーを利用」が3.7%から11.3%に増加している。**有料化により空港までの交通手段が自家用車から公共交通機関へ移行**してきていることが伺える。なお、前回のインタビュー調査時に「有料化後に利用する交通手段」について聞いており、その時の回答では「タクシーを利用する」が約11%であったことから、有料化後の調査結果は、有料化前の調査結果を概ね反映している結果となっている。



交通手段(有料化前後)

6) 有料化による駐車場の満足度調査

有料化後の駐車場の満足度については、以下の方法により数値化し評価した。

「満足」・・・・・・・・・・5

「やや満足」・・・・・・・・4

「どちらでもない」・・・3

「やや不満」・・・・・・・・2

「不満」・・・・・・・・・・1

を与え、下式により算出した。

$$\begin{aligned} \text{各項目の満足度} = & \{(\text{満足の回答者数} \times 5) + (\text{やや満足の回答者数} \times 4) \\ & + (\text{どちらでもないの回答者数} \times 3) + (\text{やや不満の回答者数} \times 2) \\ & + (\text{不満の回答者数} \times 1)\} \div \text{総回答者数(不明除く)} \end{aligned}$$

駐車場満足度集計結果

	満足度		
	利用しやすくなった	利用しにくくなった	全回答
空港駐車場の営業時間	4.38	3.40	4.34
空港駐車場の利用料金	4.19	2.56	4.10
駐車場の清潔さ	4.46	3.28	4.39
駐車スペースの広さ	4.52	3.56	4.47
出庫の際の出口までの距離	4.08	3.06	4.02
駐車場内の運転のしやすさ	4.18	3.12	4.13
料金支払いの簡単さ	4.07	3.00	4.02
従業員の対応	4.10	3.20	4.03
看板や案内板のわかりやすさ	3.70	3.13	3.67
照明などの明るさ	3.95	3.29	3.91
盗難・防犯などの安全性	4.27	3.15	4.21

注:「利用しやすくなった」「利用しにくくなった」は、有料化後の利用しやすさの回答区分である。

各項目とも中央値である 3.0 ポイント以上となっており、概ね**有料化後の満足度として高評価**であった。

点数の最も高かった項目は、「駐車スペースの広さ」で、4.47 ポイントであった。有料化により泊車や長時間駐車の手数が減り、駐車スペースを見つけやすくなったものと考えられる。これは、駐車場を利用しにくいと回答した人の集計でも、他項目に比べ点数は高くなっている。

逆に、**最も点数が低かった項目は、「看板や案内板のわかりやすさ」**であった。有料化に際し、案内板等は数多く設置しているが、利用者には、まだわかりやすくなっていないようであるため改善の必要もあるものと思料される。また、「5 千円札、1 万円札が利用できないことを案内板で周知するべき」との意見もあったことから、出口までの案内板だけでなく、料金や料金支払いシステムに関する案内板も必要と思料される。

3 有料化後の駐車場への意見要望

1) 駐車スペースに関すること

- ・有料化された事により駐車スペースが確保されやすくなった。
- ・駐車場は、駐車スペースが空くようになり停めやすくなっている。
- ・レンタカー用のスペースに一般車が駐車していることがある。
- ・繁忙期には、スペースが足りないかもしれない。
- ・バスプールが増えているので、楽になっている。

2) 料金に関すること

- ・駐車料金を安くして欲しい。
- ・無料時にも十分駐車は可能だった。有料化してまで改善の必要はない。
- ・地元客を優遇する工夫が必要である。パレットのようにテナントで購入した方にはサービス券を発行する等。
- ・個別客の送迎で、有料駐車場を利用するが毎回課金されるのは、面倒である。月締め等で精算できる方がよい。

3) 営業時間に関すること

- ・営業時間を、夜間作業や早朝出勤に対応できるよう、朝6時～夜11時迄にしてほしい。飛行機の遅れ等に柔軟に対応して欲しい。
- ・一般車と定期利用者で利用時間を変更できないか。
- ・新石垣空港でも駐車場は有料になると思うが、営業時間は考えて欲しい。また、宮古が事例となるのであれば、今の内に宮古の営業時間を再考してほしい。
- ・24時間利用できる駐車場にして欲しい。

4) その他

- ・接車フロントの降車場に一般車が多く駐車している。
- ・空港外の側道に、週末になると多くの違法駐車がある。
- ・取締りの強化を切にお願いしたい。
- ・駐車場有料化により、タクシーの利用客は増えていると聞いている。

4 参考 (新聞記事)

宮古毎日新聞 (平成9年12月5日掲載記事)

宮古毎日新聞

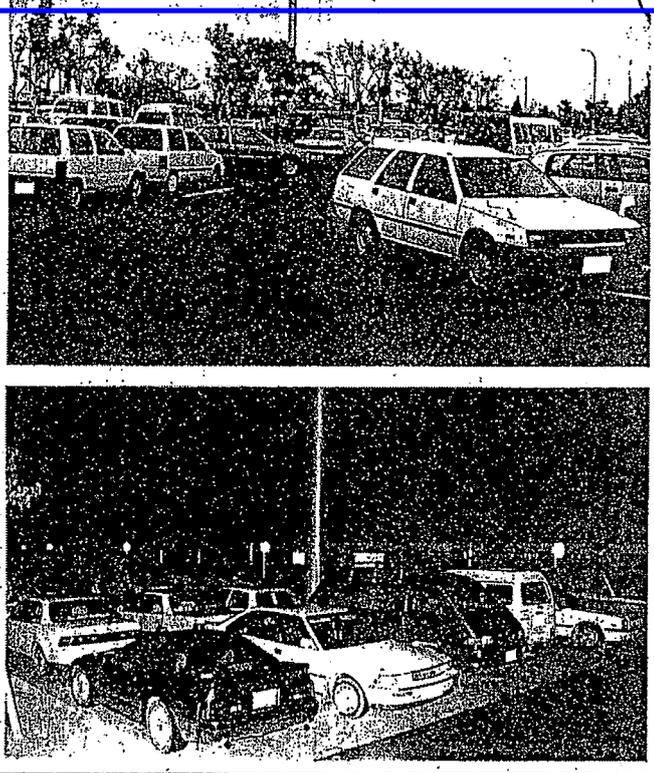
1997年(平成9年)12月5日 金曜日

宮古空港 駐車場 マヒ状態の目が増加

夜間駐車が大きな原因

1日400台以上の夜間駐車も 県、有料化含め 打開策検討

宮古空港の新駐車場が満車でマヒ状態の日が多くなり、一般利用者から「駐車場は広くないはずなのに、とめる所がない。非常に不便だ」と苦情の声が高まっている。宮古空港管理事務所・平良市空港課では「大きな原因は、二、三日も駐車する夜間駐車にある」と指摘するが、利用者のマナーに訴えるだけで、何ら効果がない。解決法として有料化の提案もあるが、空港課では「必ずしも有料化で効果は期待できない」との見方。県土木建築部空港課管理係では事態打開のための調査を進めている。



駐車場が満杯となり、車が道路にあふれて混雑(写真上) 土・日には400台を超える夜間駐車もある(写真下) 〓宮古空港駐車場

宮古空港新ターミナルは去る七月十七日に供用を開始。同時に、旧ターミナル駐車場の三倍の四百八十五台収容の新駐車場も供用を開始した。当初二カ月ほどは十分ゆとりがあったが、九月後半あたりから駐車台数がと

土・日になると駐車スペースをほみ出した車の列が目立つようになった。先に駐車した車が出られなくなると立ち往生するケース、運搬の通行がスムーズにできない事態が生じ、利用者は不満を募らせている。

この駐車場の混雑の原因を平良市空港課では「夜間駐車が二番大きい」と見る。開港が調べた夜間駐車台数によると、供用開始後、一日平均で七月は百二十五台、八月は百六十八台、九月は二百台、十月は二百六十三台、十一月は二百八十五台と、上昇を続けている。先月後半の土・日は四百十台を超える日が三日もあるなど、夜間からの駐車で、駐車場が満ちた状態の日が多くなってきた。

有料化前

法として「有料化」はよくあるのではとの意見が多いが、市空港課は「現在は無料だから夜間駐車を減らしている人もいる。有料にするか、あるいは料金を払って夜間駐車がなくなることも考えられる。あつり期待はできない」との見方。「有料にする場合は施設の経費も県の負担になる。むやみに混雑を減らすこともできない。県は相談しながら進めたい」といふ。県土木建築部空港管理課係では「地元の負担になるのはほめるべきだが、現在の利用状況は放っておけない。事態打開のため現在他県の状況を調査している。有料は一方ではできないので、今後地元の意見を聴きながら、検討していきたい」と話している。

第三種空港

有料化後

あすから駐車場有料化

宮古空港、1時間以内100円



駐車場入口に設置されている発券機=31日、宮古空港

宮古空港の駐車場が
あす2日から有料化さ
れる。料金は1時間以
内100円で、1時間
超り時間以内は200
円など、1時間増すこ
とに100円が加算さ
れる。利用者は入庫時
に発券機から駐車券の

受け取り、出庫時には
精算機へ駐車券を挿入
し、駐車時間に応じた
料金を投入する。自動
二輪は有料化の対象で
はなく、駐車券の必要
はない。初の導入であ
ることから県空港課で
は混雑すること
されるとして「
は時間に余裕を
出掛けるよう
に掛ける。先
駐車場入口に
機1機、出口に
2機がそれぞれ
れている。先

ら機器の試験運用を実
施していた。

駐車場に入庫、出庫
できる時間は午前7時
〜午後10時まで。

身障者などの手帳を
提示すれば駐車料金が
半額免除される。

駐車場の有料化は、夜
間駐車を含む長時間駐
車を解消し、適正管理を
図ることが目的。問
い合わせは同課(電話0
98・866・240
0)、宮古空港管理事務
所(72・4127)

有料化後

宮古空港駐車場 あすから有料化

設

時間から24時間以内は1000円。

身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳の提示で、駐車料が半額になる。

駐車料収入は、空港の管理費に充てる。

有料化に伴い、駐車場入り口で駐車券の受け取りや出口での支払いに一時停車するため、混雑が予想されるとして県は時間に余裕を持って出掛けるよう呼び掛けている。

問い合わせは同空港管理事務所、電話0980(72)4127または県空港課、電話098(866)2400。

宮古空港を管理する県は、2日から同空港の駐車場を有料化する。長期間の駐車を防ぎ、一般利用者駐車スペース確保が目的。24時間利用駐車可能だが、入

・出場は午前7時から午後10時まで。
駐車料金は9時間までは1時間ごとに1000円。9

宮古新報

8月3日 火曜日
2010年(平成22年)

発行所 宮古新報社
沖縄県宮古島市平良字西里333-1
郵便番号906-0012
代表・(0980)73-1212
FAX・(0980)73-1811
e-mail:m-shinpo@ryucom.ne.jp

毎週水・土はポイント2倍
火・金・日は 100円
かりゆしウェアのみ
崎山クリ- 有料化後

第14499号 (日刊) © 宮古新報社 2010年

人が2日、市
まる「東京・
は9日までの
事)
は父の郷里
.com/

東洋、宇部商ら4強

分後に開始される。
結果は次の通り。
3回戦 東洋学園2 (25-18) 0 相馬市 南大高、東徳2 (25-20) 0 立野崎2 (25-19、25-20) 25-18 0 佐賀育ち男女決



駐車場有料化初日、入口の駐車券発券機前で一時停止する影響で若干の混雑が見られた=午前10時半ごろ、宮古空港

宮古空港駐車場 有料化はじまる

初日、若干混雑もスムーズ

スペースに空き目立つ

夜間などの長時間駐車や利用の増加などで慢性的な駐車不足を解消するため、県管理では初めてとなる駐車場有料化が2日、スタートした。初日は入口の発券機前で一時停止して駐車券を受け取る手順に慣れる利用者もおり、航空機到着時間に若干の混雑も見られたが、比較的スムーズだったとみられた。県及び空港管理事務所によると、有料化の影響で、開始日が月曜だったこともあり、駐車スペースはこれまでとほぼ違っていないとみられる。

宮古空港駐車場は供用開始した1997年から長年わたって夜間駐車看板の設置や、張り紙、メタペイントによる誘発を実施してきたが改善されず、利用の公平性、安全面、観光のイメージ低下を懸念として、県が有料化に踏み切った。県議会での料金体系をまずために条例改正した。県は駐車券の発券機及び精算機、ゲートなどを整備するとともに、駐車スペースの確保や一般と専用(空港従業員、レンタカー)のエリアを分けるため、改良工事を実施した。機器のシステム稼働状況、係員の業務ノウハウの習得、トラブル等への対応によるマニュアルの向上を図ることを目的に、7月15日、28日には試験運用した。有料化スタートに当たって県及び空港管理事務所は、1日午後10時までに利用者に混雑を呼びかけた。市空港課によると、今朝までの駐車は21台で、これ



九州大会での活躍を誓う選手たち=市長室

九州での活躍誓う

平良・伊良部中バレー部 下地市長にV、準V報告

第52回県中学バレーボール競技大会男子の部で優勝した平良(本村憲作監督)、準優勝の伊良部(徳額清明監督)が2日、市役所平良庁舎に下地市長を訪問し、優勝、準優勝を報告し、九州大会での活躍を誓った。下地市長は「宮古勢の両校が決勝で戦い、シーソーゲームでいい試合を展開し、前年同月比では0.6% (8254人) 増となっている。地域別には、北部12万8421人(総人口に占める比率9.2%)、中部59万6233人(同42.9%)、南部24万4788人(同17.6%)、宮古5万3404人(同3.8%)、八重山5万2684人(同3.8%)、那覇31万900人(同22.7%)。前年同月比では北部が0.2%増、中部が0.7%増、南部が1.0%増、宮古が0.2%増、那覇が0.4%増それぞれ増加し、宮古が0.1%の減少となった。推計世帯数は53万2997世帯で、前年比0.2%増(887世帯)増、前年同月比では1.8%増(928世帯)増。2005年国勢調査の世帯数では9.1%増(4万4606世帯)増となっている。

また、前書きのないドラマ。ハツツとしたアレでいい試合を見せてもらった。九州でも平良、伊良部ともに、宮古、県代表としての誇りをもって戦ってほしい」と激励した。同席した川上哲也教育長は「両校の戦いは感動の嵐を宮古に吹き込んだ。九州大会でも活躍を期待したい」と話した。

両校にはキーパーそれぞれ1つと、市インテリキョウクターの「みやや」のイラスト入りボールペンがプレゼントされた。

平良の西久川誠也主将は「九州大会でも全国を目指し頑張りたい」と述べ、伊良部の渡久山翔浩主将は「持ち味のコンビバレーを生かし、上位を目指したい」と意気込んでいる。

選手たちは8日に九州大会開催地の佐賀県に向け出発。10日からの全国大会を目指して試合に臨む。

までの平日50台以上、週末の100台前後と比べても大幅に減少したという。今後7日以上の駐車については、通知などを踏まえて車両移動などの対応を行う方針。また、有料化で出発及び到着ロビー前道路上の駐車が増える可能性があるとして、宮古島警察署とも連携して駐車違反取り締まりを強化する。

2日、駐車場入口では発券のため一時停止する車の混雑があり、精算機でコインの紙幣口への紙幣投入などもあったというが、大きなトラブルはなかった。駐車料金は1時間毎に1000円増、一泊(9時間超24時間以内)1000円。

7月1日現在
宮古の推計人口
5万3404人

【那覇支局】県企画部統計課が、このほど発表した7月1日現在の推計人口は139万931人で、前月比0.1%(936人)増、前年同月比では0.6% (8254人) 増となっている。地域別には、北部12万8421人(総人口に占める比率9.2%)、中部59万6233人(同42.9%)、南部24万4788人(同17.6%)、宮古5万3404人(同3.8%)、八重山5万2684人(同3.8%)、那覇31万900人(同22.7%)。前年同月比では北部が0.2%増、中部が0.7%増、南部が1.0%増、宮古が0.2%増、那覇が0.4%増それぞれ増加し、宮古が0.1%の減少となった。推計世帯数は53万2997世帯で、前年比0.2%増(887世帯)増、前年同月比では1.8%増(928世帯)増。2005年国勢調査の世帯数では9.1%増(4万4606世帯)増となっている。

7月1日現在
10%増
天気
60
40
30
30

宮古島警察署 宮古島地区交通安全協会
▽午後7時・多良間村観光協会理事会=多良間村中央公民館第1研修室
◆普天間飛行場移設問題講演会(7日) ◆国民健康保険被保険者証更新 完納世帯は郵送、未納世帯は窓口で更新。詳しく

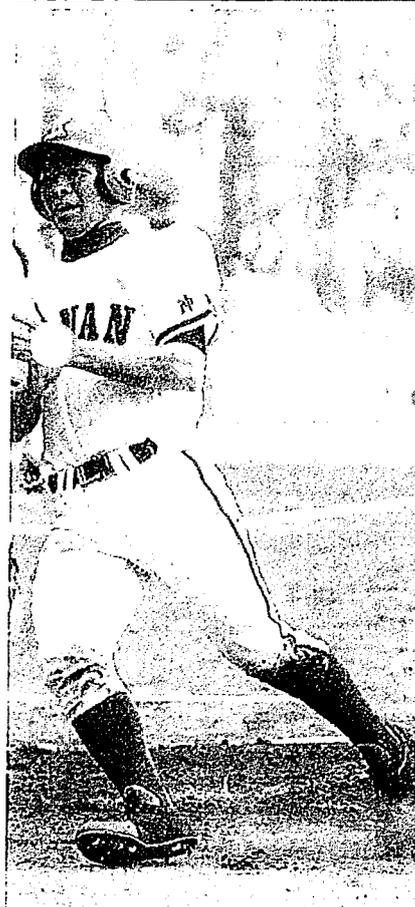
新報

8月11日水曜日
2010年(平成22年)

発行所 宮古新報社
沖縄県宮古島市平良字西里333-1
郵便番号906-0012
代表・(0980)73-1212
FAX・(0980)73-1811
e-mail:m-shinpo@ryucom.ne.jp

©宮古新報社 2010年

新築、増改築のプランは当社で
エアコン、ガス、住宅設備機器、家具、器具販売
安心と信頼のパートナー ライフクリエイティブ企業
株式会社 **りゅうせきエネプロ**
☎(0980)72 有料化後 2



宮古空港駐車場の有料化が始まって1週間余が経過。以前なら夏場には100台以上あった夜間駐車車が10、20台と激減しており、同空港を管理する宮古島市空港課では「相当な効果。長年の懸案事項が解決された」と喜んでいる。しかし飛行機が遅れて到着した際、一般道の空港内通路に送迎車が滞る傾向も見られ注意が必要としている。

空港駐車場は週末になると夜間駐車が増えていたが、有料化スタート後の6日は19台、7日は24台、8日は14台だった。以前は目立っていたレンタカーも現在はゼロ。ちなみに昨年8月は1日平均142・5台の夜間駐車があり、特に8日は278台と最も多かった。長時間駐車もないせいか昼間も駐車場には空きスペースが目立ち、通路の迷惑駐車もない。同課は「適正な利用が進んでいる」と手応えを感じていた。

同空港では夜間などの長時間駐車や利用者の増加に伴い慢性的な駐車スペース不足が課題となってきた。夜間駐車に関しては立て看板や張り紙等で防止を呼びかけてきたが改善されず、利用の公平性と安全性、観光イメージ向上などを目的に県管理空港では初めて有料化された。

2回興南無死3塁、伊礼の適時打で3塁走者・山川(右)が生還
捕手・井上、左は次打者・鳥袋(読売)

有料化で大きな効果

空港 駐車場の夜間駐車が大幅減少

同課は「これほど激減するとは思わなかった。夏休み期間には駐車できないときもあったが今は大丈夫。初期の目標は達成できた」と話す。到着遅れに伴う空港通路の混雑に関しては「10、15分ほどで解消しているが、注意していきたい」としている。



9-0 快勝

高校野球選手権 (下地中身) 好リリーフ

国庫支出

1回戦4試合が行われた。史上6校目、沖縄代表の興南は、6回に国吉大陸の2点本塁打が飛び出すなど打線が爆発。エース鳥袋洋奨も七イニングで計7つの三振を奪う力投を見せ、2番手・川満昂弥(下地中出身)との完封リレーで16年ぶりの出場の鳴門(徳島)に9-0で快勝し、

史上6校目、4面に関し、興南は二ヤンスに山はじき返しく間に1点塁とした後フト線には目。さらけ

有料化後

宮古空港 夜間駐車激減



有料化後は「使いやすい」と好評な駐車場=17日、宮古空港駐車場

有料化から2週間

利用者には好評

レンタカー業界 顧客対応に苦慮

宮古空港駐車場が有料化されて15日、2週間。有料化の影響で夜間駐車台数は激減した。駐車場の利用者からも「止めやすくなった」と好評だ。一方、レンタカー事業所は顧客の利便性に影響があり、サービスの質低下につながるのと対応に苦慮している。2週間の駐車場利用料金の総額は1500万4050円だった。

有料化前は毎日100台を超える車両が夜間駐車していた。有料化以降は駐車台数が多くとされる金曜日でも夜間は20台前後に激減している。

市の空港管理事務所は「今後はスムーズに利用できる。適正に利用されるようになった。(有料化)初期の目的は果たしている。予想以上の結果だ」と話している。

観光客を円滑に送迎していた仲地清吉さん(76)は「前は一杯でぐるぐる回ってもなかなか止められなかった。今は好きな時間に止められる。1000

円くらいだし良いと思う」と有料化を歓迎している。

一方、レンタカー会社にとってはこれまでの様に、空港での引き渡しが難しくなってきた。顧客の利便性を考えると非常に利用しづらくなった。

レンタカーの事業所には顧客送迎用として駐車場の定期券が各社に1枚の枠があるが、繁忙期の今はとても足りないという。

仲地清吉さん(76)は「前は一杯でぐるぐる回ってもなかなか止められなかった。今は好きな時間に止められる。1000

望が来ている。県としても前向きに検討している」と話している。同課はレンタカー利用者への送迎バス用基盤場所を港ターミナルビル近くに移動し、分りやすく表示することも検討課題として挙げた。

また、大島班長は「まだまだ週間で本格的な大規模移動がない。お盆の時期に駐車場の利用状況がどのようになるかな」と述べた。

今年5月のゴールデンウィークの夜間駐車台数は2日(17、18)が277台、3日(19)が245台、4日(20)が232台。同駐車場の収容台数は約400台の半分以上を占めていた。

県土木建築部空港課の大島明彦管理班長は「レンタカー業界から駐車場の定期券を増やしてほしい」と要望